

◆公開研究発表会

さいたま市立大宮国際中等教育学校
2024年度公開研究発表会二次案内

「Grit・Growth・Globalのマインドセットを育む 探究学習における指導方法の研究」

～指導と学習と評価の一体化の観点から～

■ 日時
2024年11月22日（金）10:35～16:50（受付：10:00～）

■ 概要・背景
昨今、「探究学習」が全国的に推進され、「探究」というワードを耳にする機会が増えてきました。国際的な学校である本校では、2019年の開校当初から「探究学習」を本校の授業に取り入れてまいりました。昨年度は、学校として目標を定めて研究・実践することにより、具体的な成果を挙げたいと考え、「MOISの探究とは？」の探究テーマに据えて公開研究発表会を開催しました。探究を推進する上で必要となる全体的な見直しを遂げた本校は、評価の一体化を図ることで、探究学習はますます効果的になると考えました。

「評価」と「学習」との両方ともを推進する観点から、指導と評価の一体化の観点から、探究学習の推進を図るために、ご参加いただく皆様からの多くのご指導・ご助言をいただきたいと存じます。

■ 指導者
Thomas Belshaw（市立札幌開成中等教育学校 MYPコーディネーター）

さいたま市教育委員会指導主事

■ 申込

申込締切：2024年11月18日（月）

申込方法：「申込参加コード」もしくは、こちらのリンクから必要事項を入力の上、お申し込みください。

■ 当日の日程

時間	内容
10:00～10:30	受付（後援校研究会参加校）
10:35～11:15	開会あいさつ・研究概要説明
11:20～12:05	生徒による3C Project発表
12:05～13:00	Lunch
13:10～14:50	研究授業
15:00～15:30	生休会：指導検討
15:30～16:50	分科会：研究協議・総括



研究紀要の素敵な表紙は5年
の生徒が作成してくれました！

■ 研究授業一覧

教科・科目	学年	単元名	授業者	教科・科目	学年	単元名	授業者
英語と文学（英語）	2年	時代を超えて作品の魅力を伝えるには～『羊家物語』～	小木 結平	英語の指導（外国語）	3年	Integrating Technology into Our School Life	Jennifer 久保田
英語と文学（英語）	3年	形式・スタイルの変化がもたらすものとは～『竹取物語』の比喩～	山下 雄輝	English B（外国語）	5年	DP English B: Literature	Aaron Nachin
個人と社会（社会）	1年	世界のさまざまな国境	片岡 剛	保健体育（体育・保健）	1年	呼吸循環器系と心身の健康とは？	神 千竜 平野 大樹 本郷 陽子
個人と社会（公民）	5年	共生のための「ブリック・スキル」～競争の勝敗と向き合う～	小川 玲	保健体育（保健）	5年	Well beingとは？	藤子 倫行
数学	2年	図形の性質	風間 貴大	芸術（美術）	1年	「Catch the Motion」 連続した瞬間の美しさを表現することは世界をよりよくすることにつながるのか	高橋 航
数学	4年	指数関数と対数関数	中村 一樹	芸術（音楽1）	4年	「創作音楽：ミラクル」 様々な要素が融合した音楽は物語を表現することができる	武藤 麗子
科学（理科）	2年	「化学変化と原子・分子」結びつきから形・分岐をつくる	杉本 志剛	デザイン（新課程）	4年	環境問題に寄り添う	山崎 幸希
科学（理科）	3年	「自然と人間」 生態系の多量と人間の活動	鈴木 謙真	デザイン（情報1）	3年	コミュニケーションの広がり考える	市川 せくら

11月22日（金）、第2回「公開研究発表会」が開催され、全国各地の学校関係者や企業の方々など、130名を超える参加者が集まりました。当日はMOISの授業を見学し、活発な意見交換が行われました。



今回の発表会では、「Grit・Growth・Global のマインドセットを育む探究学習における指導方法の研究～指導と学習と評価の一体化の観点から～」をテーマに、MOISが進める教育活動を広く知っていただくとともに、教職員の授業力向上を目指しました。



全体会では特別講師として、札幌開成中等教育学校の MYP コーディネーター、Thomas Belshaw 先生を招いて、貴重な指導講評をいただきました。

その後の分科会では、大学教授、教育関係者、企業の方々、教育を学ぶ学生など、多様な立場の方々との意見交換も行き、非常に有意義な時間となりました。

参加いただいた方々からは、「『主体的・対話的で深い学び』の理想を体現したような学校であると思った。目標となる教育を目にしたことで、今後自分が所属する学校にどう落とし込むかのヒントを得た気がする。もっと自分自身も深く知りたい、学びたいという意欲がわいた。」「教科横断的な問いや探究サイクルを何回転もまわすことで新たな課題設定につながっている点が大変勉強になりました。」「IB の目指す教育の実践を間近で拝見して、大変勉強になりました。先生方自らが学ばれ、学習する組織として前進されている姿勢にとっても感銘を受けました。また、授業や3G プロジェクトで、生徒たちが学びを主体的に楽しんでいる様子が印象的でした。」等、たくさんのフィードバックをいただきました。

これからも教職員一同、研修や研究活動を通してさらに質の高い教育を目指してまいります。引き続き、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

◆MOIS Cup

毎年恒例となっているディベート大会、「MOIS Cup」が行われました。

今回も外部から10校（中学校相当5校、高等学校相当5校）19チームを招き、日本語・英語の2部門に分かれて、言論による熱い戦いが繰り広げられました。10月19日（土）には校内予選が、11月30日（土）には本戦が行われましたが、どの試合も審判が甲乙つけがたい、白熱した展開となりました。右の表は激戦を勝ち抜いて優勝したチームの一覧となります。

中学校 日本語部門	MOIS 4
中学校 英語部門	ぐんま国際アカ デミー中等部 2
高等学校 日本語部門	MOIS 1
高等学校 英語部門	MOIS 1



高等学校英語部門 決勝戦



高等学校英語部門 優勝 MOIS 1



高等学校日本語部門 決勝戦

◆第二回 学校運営協議会

11月9日（土）、第2回学校運営協議会が開催されました。会場と Zoom オンラインを通じて行われ、地域の代表者、教育関係者、保護者、生徒代表、学校教職員が参加しました。

会では、学校の目指すべき姿とその実現に向けた具体的な取組内容、課題と改善策等について、参加者がテーマ別にグループに分かれて協議しました。協議には生徒も加わり、地域や社会と連携することによって、どのように社会の未来のつくり方を学べる学校にできるかについて熱く意見を交わしました。



◆臨時全校集会

12月5日(木)に、臨時の全校集会が開かれました。内容は「本校の登下校時のマナーについて」です。

本校では、登下校時のバス内での適切な行動や、自転車の安全運転について、地域の住民の方々から度々ご意見をいただいています。この状況を改善し、より良い学校環境を築くため、校長、生活支援部、および生徒会の提案のもと、臨時の全校集会が開催されました。



最初に、校長先生からの話がありました。

「最近、地域の方々から登下校時のマナーについて多くのご指摘をいただいています。特に、バス内での騒がしさや自転車の危険運転についての苦情が目立っています。」「MOIS の評判は二つに分かれています。良い評判は、学校の先進的な取り組みや、授業の質の高さに対するものです。一方で、悪い評判は、今回のような登下校時のマナーの悪さに関するものです。」「私は、この状況を非常に残念に思っています。皆さんは本当に高いレベルの学習に取り組み、3G Project で熱心に地域や世界のことを考えている。その努力が認められ、国内外から高い評価をいただいているのに、登下校時のマナーの悪さでその素晴らしい評価が損なわれているのです。」「皆さん一人ひとりが意識を変えれば、地域の方々の目も必ず変わります。そうすれば、皆さんの MOIS での素晴らしい取り組みが正当に評価されるはずです。どうか、この問題を他人事ではなく、MOIS 全体の問題として真剣に考えてください。」と、登下校時のマナーについて、一人ひとりが自分事として捉え、考えることを促しました。

続いて、生徒会長の龍田さんより、メッセージがありました。

「私は、こうしたことによって MOIS の評価が下がることが、どうしようもなく悔しく、悲しいです。」「MOIS のみんなが MOIS を誇れる、愛され続ける学校にしてほしい。」「心当たりがある人は行動を改める・注意されたことは素直に聞く・良くない行動をとっている人がいたら注意をする、という 3 つのポイントを守ってください。」と、生徒会長としての責任感と MOIS への深い愛情を乗せた強いメッセージで、MOIS 生全員が行動を見直し、改善する必要があると訴えました。



その後、1年生から6年生まで混合したグループを作り、自分が見かけた、もしくはしてしまったマナーに対する改善のアイデアや、どうすれば登下校のマナーが向上するのかを前向きに話し合い、意見を共有しました。どの生徒も、この問題を自分事に捉えて真剣に話し合いました。中には強い後悔や自戒の念を開示する生徒もいたり、解決に向けて意見を提案する生徒もいたりしました。

教員側が主体となってルールを厳格にし、違反を繰り返す生徒にペナルティを与えるなどの厳しい指導を課す学校は少なくありません。しかし本校では、生徒主体で問題解決に取り組む姿勢を重視しています。生徒たちが自ら考え、話し合い、行動を変えていくことで、主体的な学びと成長を促進するのが本校の教育方針です。

今後もこの取り組みを継続し、地域と連携しながら、MOIS 全体でより良い学校環境の実現を目指していきます。

◆IB コーディネーターより

MYP Personal Project 4.0, ROK/TOK Exhibition

IB コーディネーター: Brad Semans

There have been some key moments in November and early December for the MOIS IB Programs. MOIS 3rd grade students have started to work on their Personal Projects. Of course, MOIS community knows that the Personal Project is the final project of the MYP. Past Personal Projects have helped students to learn about themselves, clarified their futures, and develop the qualities of the Learner Profile. Holding blood drives, publishing children's books, and creating events with the local community are just some of the successful story's upperclassmen can tell.

Now, the class of 2028 has started to plan. To support their planning, all 3rd grade students will have meetings with teachers from other grades to discuss their ideas and get fresh perspectives and advice. Not only will this help our students do their best Personal Projects, it is a great chance for them to practice explaining themselves and their inquiry to someone new.

In the 5th grade, Liberal Arts, STEM, and Global Course students have all done their ROK/TOK Exhibitions. In the exhibition, students select one of 35 prompts that ask the student to consider. Students selected three items that represented their answers to this question. Teachers and students all thought deeply about these questions and explained themselves with active discussion.

In the future, we look forward to future generations of MOIS students to carry on these traditions!

MOIS の IB プログラムにとって、11月と12月初旬は重要な時期でした。3年生は Personal Project に取り組み始めました。MOIS のコミュニティの方々をご存知のように Personal Project が MYP の最終プロジェクトです。これまでの Personal Project は生徒が自分自身について学び、将来を明確にし、Learner Profile の資質を伸ばすのに役立ってきました。献血活動、絵本の出版、地域コミュニティとのイベント作りなどは、上級生が語ることのできる成功例のほんの一部です。

今、2028年卒業生は計画を立て始めています。計画をサポートするため、3年生は全員、他学年の教師と話し合いの場を持ち、自分たちのアイディアについて話し合い、新鮮な視点やアドバイスを得ます。これは生徒が最高の Personal Project を行うのに役立つだけでなく、自分自身や自分の探究心を新しい人に説明する練習をする絶好の機会でもあります。

5年生では、リベラルアーツコース、STEM コース、グローバルコースの生徒全員が ROK/TOK エキシビションを行いました。エキシビションでは、生徒に考察を求める35のプロンプトから1つを選びます。生徒たちは、この問いに対する自分の答えを表す3つの事物を選びました。教師も生徒も皆、これらの問いについて深く考え、活発なディスカッションを交えて自分自身を説明しました。

将来、MOIS の生徒たちがこうした伝統を受け継いでいくことを期待しています！

◆各学年より

1年生「SDGsプロジェクト始動！ 人間力を磨くスタート地点」

1年生担当：山田 寛之

11月はお忙しい中、ポートフォリオ検討会にお越しいただき、ありがとうございました。夏のポートフォリオ検討会に比べ、発表の準備やプレゼンテーションに成長を感じたという保護者の方からの声を多数お聞きました。6期生の皆さんには、発表した内容を今後の学びや成長に自ら繋げていってほしいと思っております。

さて、3G プロジェクトでは、個人で探究活動を行う「SDGs プロジェクト」が始まりました。各自が興味のあるゼミを選んで所属し、SDGsの17の目標を達成するためのプロジェクトを一人で立ち上げ、計画・実行していきます。この「SDGsプロジェクト」は、2学年の Semester I で完結する1年間のビッグプログラムです。その活動のベーシックスタディとして、「NIE(Newspaper In Education)講座」、「SDGs 講座」や「メディアリテラシー講座」等を受講しました。ぜひお子様にどんなプロジェクトを立ち上げようと考えているのか聞いていただき、感想やアドバイスををお願いします。

社会課題の解決を図るには、校外で様々な人・団体と協働していくことも必要になります。そういった場に出ていく上では、ルールの遵守、礼儀・マナーを守ることが必要不可欠です。残念ながら、1年生の中にも登下校中に歩きスマホをしたり道路に広がって歩いたり、バス車内でマナーに欠いた行動をしてしまう生徒がおり、地域の方からお叱りの声をいただいているのが現状です。MOIS の一員、地域の一員としての自覚を促し、校外の方々から応援や感謝のお言葉をいただけるようになることこそ貢献活動の第一歩であると、引き続き粘り強く声掛けをしてまいります。ご家庭でも、登下校時の交通安全、交通マナーはもちろん、一般社会での礼儀・マナー全般についても、折々お子様にお話しいただければ幸いです。



NIE 講座

新聞記事を分析し、新聞で情報を得るメリットや会社によって異なる言論の違いについて学びました。



SDGS 講座

個人的な興味・関心と社会課題をどう繋げ、どんなプロジェクトを立ち上げるかについて様々な視点から考えました。



衣服の再利用・リメイク講座

NPO の方にお越しいただいてレクチャーを受け、衣類のごみ問題やリサイクルの重要性について考えました。

2年生「自分を見つめ直す」

2年生担当：吉田 優作

先日はお忙しい中、ポートフォリオ検討会にご参加いただき、ありがとうございました。生徒一人ひとりが学習面での成果や課題、将来の目標について発表し、自分を見つめ直す良い機会になったのではないかと思います。2年生教員一同、生徒の成長を引き続きサポートしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「夢の教室」では、夢先生をお招きし、共に体を動かす活動をした後、自分の夢について考える活動を行いました。夢先生との交流を通じて、生徒たちは将来やりたいことや、夢の実現に向けて今必要なことを考え、書き出しました。「幸せになりたい」という大きな夢から、「サッカー選手」「教師」「医者」など具体的な夢までそれぞれの夢について多様な視点で考えられました。それらの夢について夢先生から個別にお手紙をいただき、アドバイスをもらいました。夢を「見つける」だけでなく、夢に向かって「日々努力し続ける」姿勢を学ぶことができたと思います。

また、先日行われた「歯の健康指導」では、歯科衛生士の方々をお招きし、講話をいただきました。「プラーク」や「歯周病」とは何か、どのように予防できるのかなど、日々の歯磨きで歯を守っていくことの大切さを学びました。実際に生徒が普段使用している歯ブラシチェックや、歯垢染色液を使用して歯垢の付着場所をスケッチする活動も行いました。振り返りの中で意識的に歯を磨けていなかったと書いている生徒も多かったので、この経験を毎日の歯磨きに生かしてほしいと思います。これらの活動を通して、日々の積み重ねが将来の自分を作っていることについて考え、今の自分を見つめ直すきっかけにしてほしいと思っています。



4組

夢の教室
集合写真



2組



歯の健康指導の様子

3年生「経験を未来に」

3年生担当：市川 さくら

先日はお忙しい中、ポートフォリオ検討会にお越しいただきありがとうございました。日々の学習の中での成長や課題、将来につながると感じられた点についてのプレゼンテーションを聞かれ、改めてお子さまの成長を実感していただけたものと思います。また、ポートフォリオ検討会を通じて、少しずつ、自らの将来と向き合ったり、自己実現に向けて動き出したりする姿が見られます。3年生教員一同、引き続きサポートしてまいります。

さて、今月はMOIS Music Fesが行われ、3年生からも多くの生徒が出演しました。当日は楽器演奏やダンス発表など、多様な音楽的活動の成果の発表が行われました。大勢の前で発表する姿や、それぞれの発表に込められた思いに感動し、発表者、観覧者ともに多くの刺激を受けたのではないのでしょうか。これからも校内ではもちろん、校外でも活躍する姿が増えることを期待しています。



MOIS Music Fes の様子です。



4年生「表現力に磨き」

4年生担当：川西 輝

先日はお忙しい中、ポートフォリオ検討会にお越しいただきありがとうございました。オープンキャンパスなどを通して、進路が少しずつ具体的になってきた印象を受けました。ご家庭でも、引き続き進路について話題にいただければと思います。年次団としても、一人ひとりの進路実現のためにサポートして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、11月27日（水）の体育の授業では、生徒主体のダンス発表会が行われました。足をお運び頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。一人ひとりが自分を出し切り、渾身のダンスを見せていました。しなやかで美しい動きを見せるチームがあれば、独創的なダンスで創造性に富んでいたチーム、高いテクニックで一体感を演出しているチームなど、どのチームも観客を引き込む力がありました。完成させるまでには、どのチームも課題を抱え、試行錯誤を繰り返して当日を迎えていたようです。課題をチームで乗り越えた、当日の堂々としたパフォーマンスには4年生の生徒の良さがギュッと詰まっていた。彼らの長所である「表現力・発表力」の高さが、今後も授業や学校生活全体を通してさらに発揮されることを期待しています。



司会進行から、照明や音響など裏方も含め、主体的なダンス発表会でした。



5年生「Perspective」

5年生担当：小澤 星

ポートフォリオ検討会ではお忙しいなか日程調整等ご協力いただき、ありがとうございました。ポートフォリオを通して、外部コンクールへの応募や検定の受験など、自己実現に向けて目標を立てることができました。冬休みや Virtual MOIS (家庭学習) の期間を上手に活用して、目標を達成してもらえればと思います。

11月はアウトプットの活動がたくさんありました。4月から取り組んできた ROK (知の根源) では、身の回りにある知識の性質や知るプロセスを探究し、事物を用いて発表しました。生徒同士が議論することで、自分の知識の偏りや考えるときの癖に気づくことができました。体育のダンスでは、テーマに沿ったダンスを考え、2カ月間クラスで練習を重ねました。ダンスの振り付けだけでなく、音楽も生徒自身で考え、自分たちの考えを表現することができました。様々なものの見方ができるように、生徒に議論や協働の機会を提供していきたいと考えています。



ROK の発表

←1組 3組→



ダンスの発表

←2組 4組→



6年生「The future starts today, not tomorrow. - John Paul II」

6年生担当：大豆生田 寛人

先日、Daily Reflection の時間に週番の生徒がクラスメイトへ向けて次のような振り返りをしました。

「12月に入り、色々なことに『最後の』という言葉が付くようになってきました。悔いの残らないように、全力で取り組んでいきましょう。」

この言葉に象徴されるように、生徒一人ひとりが今できること、今だからやらなければならないことを自主的に考え、行動しています。朝早くに登校し、校内を清掃する者、大学卒業後の将来を見据えて資格取得のための勉強をする者、MOIS をさらに良い学校へするために、6年間の経験から思うことを若い先生たちへ伝える者、同窓会や OB・OG 会の構想を練り、卒業生としてできることを考える者、さらなる高みを目指して懸命に勉強する者。各々が前を向き、より良い自分になるために、より良い世界を築くために行動しています。

その一方で、もがき苦しみ、不安や悩みの中でなかなか前を向けない生徒もいます。そのような生徒も含め、全6年生を様々な形でサポートします。冬休み前には一般選抜受験者対象の進路面談を行いました。今一度模試の結果を振り返り、悔いの残らない受験とするために2月から3月にかけての受験スケジュールを共に考え、組み立てました。卒業までの残り数か月、我々も全力で生徒の取り組みをサポートしていきます。



12月5日(木)に行われた全校集会の様子です。6年生を中心に学年を越えてグループを作り、MOIS 生の登下校時におけるマナーについて議論を行いました。下級生を上手くファシリテートし、各々の立場に基づく意見を交換しました。どのグループでも、6年生の頼もしさが光りました。